

評価会議（平成28年度期末）における委員の評価及び意見

1 取組実績の評価（1）：事業の実施状況

評価点 (配点25点)	A委員	B委員	C委員
	23	20	20

主な意見等

- ・中間評価以降、より発展した取組を企画・実施している。
- ・ネットを通じた情報発信や組織運営により、ネットの活用等が浸透しつつある。
- ・多様な特性がある地域において、こまめに動き、情報収集に努めている。

2 取組実績の評価（2）：事業の実施体制等

評価点 (配点15点)	A委員	B委員	C委員
	12	12	13

主な意見等

- ・現場の支援員が地域で板ばさみとならないよう、共同体の意思疎通とスーパーバイズ機能の強化に努めてもらいたい。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価点 (配点20点)	A委員	B委員	C委員
	17	15	15

主な意見等

- ・区役所との役割分担を明確にして、支援をしているのが良い。

4 取組効果の評価：目標等の達成状況

評価点 (配点40点)	A委員	B委員	C委員
	30	30	30

主な意見等

- ・まち歩きや空家プロジェクトなど、ユニークな事業を展開している。

5 総合評価

(1) 総合評価

項目	A委員	B委員	C委員
(1)地域課題等の把握・分析・整理	B	A	B
(2)目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	B	B
(3)区のマネジメントに合った取組	A	A	A

主な意見等

- ・日本語学校との協働など地域のマイノリティのニーズや、それらの人たちの地域活動のスキルも引き出している点が素晴らしい。
- ・課題分析もしっかりしており、大学とのコラボや幅広い交流会の開催など、手法も意欲的である。
- ・地活協の運営支援から地域課題の解決の支援へ、着実にステップアップしている。

(2) 総合評価

項目	A 委員	B 委員	C 委員
総合評価(全体)	A	A	B

主な意見等

- ・ユニークな取組が各所で展開され、新しい担い手が育ちつつあるので、その取組を地域につないで戻していくことを期待している。
- ・町会とも win-win の関係になるような事例が出てくれば、今後の地域活動の構図が変わるのではないか。
- ・多様な団体と地域をつなげて、地活協に新しい風を入れていただきたい。

(評価基準)

- S : 本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A : 本市の求める水準以上の効果が得られた
- B : おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C : 本市の求める水準の効果が得られていない